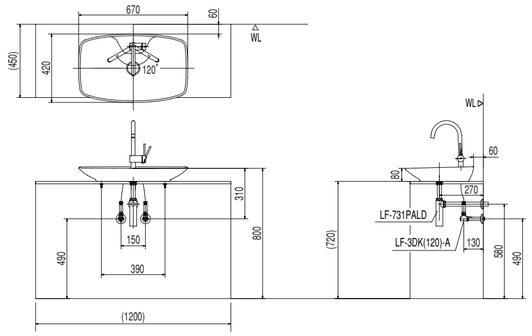
レジオコレクション　手洗器セット

袋 PP

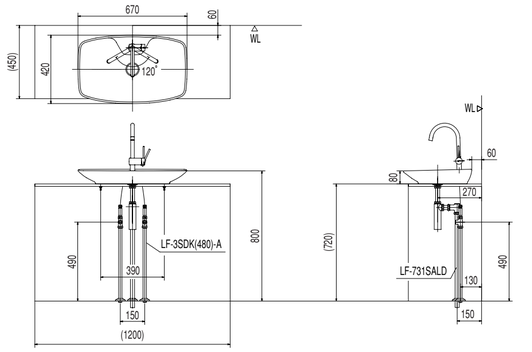
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

●標準施工図　＜カウンター施工例＞

【GL-A57SG(C)Vの場合】



【GL-A57SM(C)Vの場合】



（720）寸法は、手洗器あふれ縁高さ800を基準にした参考寸法です。
（450，1200）のカウンター幅、間口寸法は参考寸法です。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

用語および記号の説明

- 警告 ….. 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
- 注意 ….. 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- ….. 「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
- 分解禁止 ….. 「分解してはいけません！」
- 指示実行 ….. 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
- 禁止 ….. 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

⚠警告

手洗器の固定は確実に行ってください。
※落下・転倒などによってケガをする恐れがあります。　（指示実行）

⚠注意

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 **※破損しケガをすることがあります。**	分解禁止
上水道以外に接続しないでください。 **※内部の腐食により破損や漏れ、故障の原因となります。**	禁止
陶器は割れものです。 ●施工前に輸送中の破損がないことを確認してください。 ●施工後に施工段階での破損がないことを確認してください。 **※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。**	指示実行
給排水管の接続は確実に行ってください。 **※漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。**	指示実行
止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。 **※漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。**	指示実行
陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。 **※陶器が割れてケガをする恐れがあります。**	禁止
湯水を逆に配管しないでください。 **※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。**	禁止
お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。 **※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。**	指示実行
給水・給湯管の差し直しをする際は、必ず湯側、水側の両方の止水栓を閉じてから行ってください。 **※湯・水が噴出してヤケドをしたり、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。**	指示実行
衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 **※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。**	禁止
給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。 **※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。**	指示実行
陶器に熱湯を注がないでください。 **※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。**	禁止
陶器に硬いものを落とさないでください。 **※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。**	禁止
陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。 **※破損部でケガをする恐れがあります。**	禁止
陶器にひびが入ったままで使用しないでください。 **※陶器が割れてケガをする恐れがあります。**	禁止

●施工前の確認・注意

※現場調達のカウンターは、水平に施工してください。

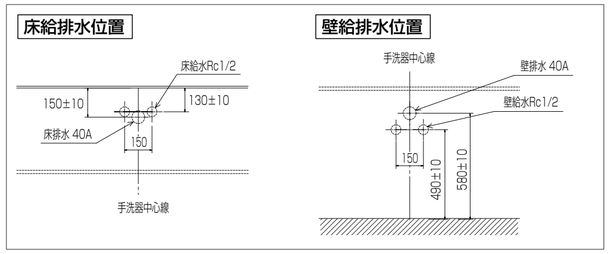
（1）取付けに必要な工具

水栓の取付けには別売の専用工具KG-9（対辺38）が必要です。

（2）手洗器の給排水位置について

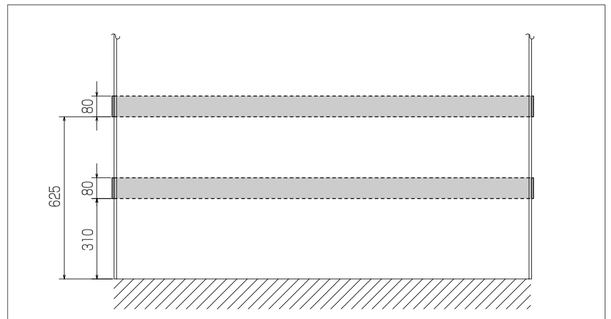
●手洗器用に、給排水管の立ち上げが必要です。給排水管の取出し位置は決まっていますので、必ず指定の位置に取出してください。
●取出し位置のずれは±10mm以内としてください。

注意
●器具取付前に給水管、排水管内に異物が混入しないようにしてください。
●給水管にはプラグ（LF-7T）、排水管にはビニール袋等でカバーしてください。

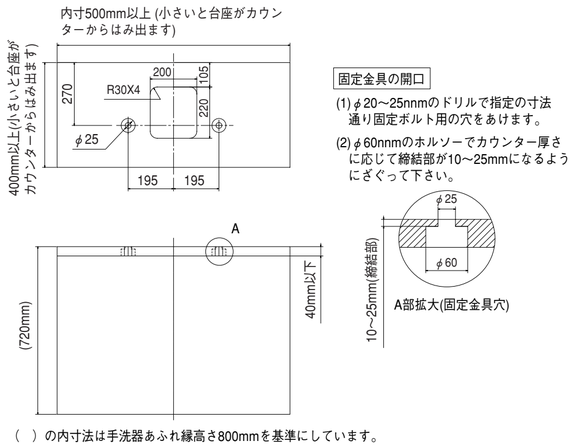


（3）補強木の位置について

キャビネットの取り付けには、背面壁に補強が必要です。あらかじめ補強木（巾80mm、巾80mm×厚さ30mm以上）を設けてください。



（4）カウンター開口と固定穴位置について



（ ）の内寸法は手洗器あふれ縁高さ800mmを基準にしています。

（5）給水条件

使用最高温度	85℃以下	使用可能水質	上水
使用環境温度	【一般地用】　0～40℃ 【寒冷地用】　−20～40℃	但し、内部の水を凍結させないでください。	
給水給湯接続	Rc 1／2		
圧力条件	0.05MPa(流動時)～0.75MPa(止水時) 給水圧力≧給湯圧力		
取付条件	水栓取付穴：φ34～φ38mm		

ガス給湯器(比例式制御式：16号相当)と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力	A＋0.1MPa(流動時)　※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
最高圧力	0.75MPa(止水時)

測定条件は次の通りです。
- レバーハンドルは湯側全開。
- 給湯温度調節機能がない給湯器とは組み合わせができません。
- 給水圧力はガス給湯器直前における圧力です。

その他の給水条件

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20～0.34MPa)に減圧してください。
- 給湯器に蒸気は使用できません。
- 給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
- 不意の出湯によるヤケド防止のため、**給湯器の設定温度は60℃以下**をおすすめします。

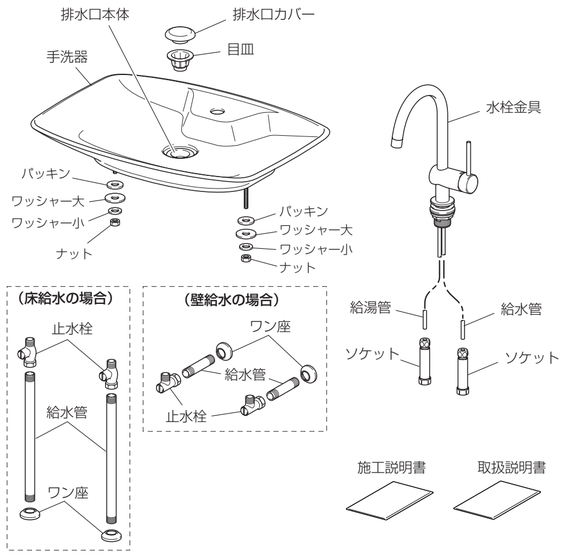
（6）配管の注意

●給水は必ず上水道に接続してください。
※中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
●給水配管はぐらつきのないように、しっかりと固定してください。
※漏水するおそれがあります。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保護材を巻いてください。
●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●必ず**配管中の異物を完全に洗い流してください。**

次ページに続く

株式会社INAX　●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173
受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日 10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などからはご利用できません。
TEL 0562-31-0793をご利用ください。

●部品の確認



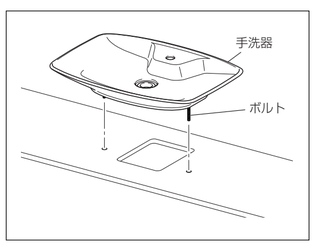
●施工方法

1．手洗器の取付け

（1）手洗器をカウンターにのせます。

注 意

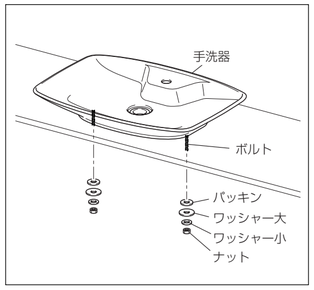
カウンターに衝撃を与えるとカウンターが破損してケガをする恐れがあります。



（2）手洗器のボルトをキャビネット内部からパッキン、ワッシャー大、ワッシャー小、ナットで固定します。

注 意

陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。

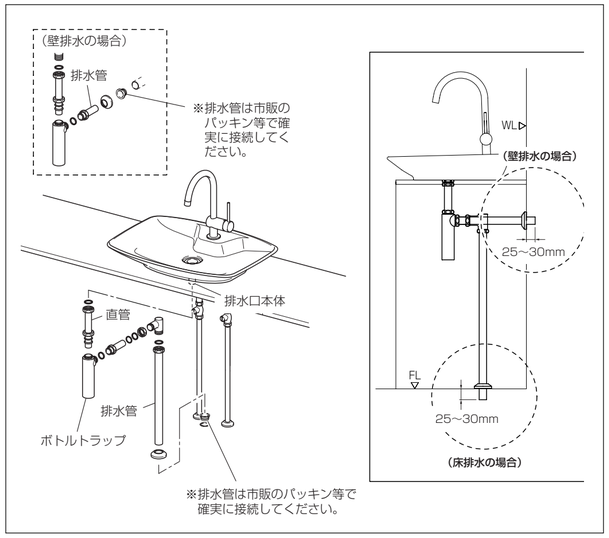


2．水栓金具、給水管の取付け

水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。

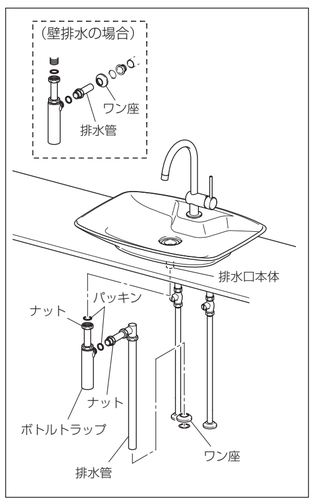
3．排水管の切断

ボトルトラップ排水管を仮組みし、建築側排水立上げ管への差込しろ（約25～30mm）を確認して排水管を必要寸法で切断します。



4．排水管の取付け

（1）排水管にワン座を取り付けた後、ボトルトラップ排水管の接続を行います。
（2）手洗器排水口本体に接続します。

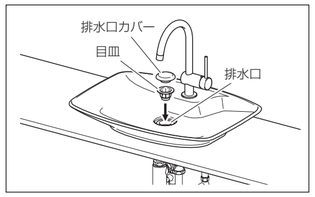


5．排水口カバーの取付け

手洗器排水口に目皿、排水口カバーを置きます。

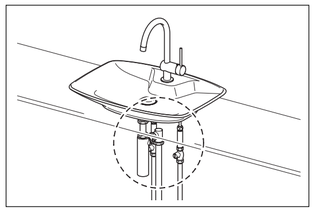
注 意

目皿は製品です。誤って廃棄しないようにご注意ください。



6．各ジョイント部の締付け確認

給・排水管の各ジョイント部が確実に締まっていることを確認してください。



7．通水検査、水漏れ点検、整流口の清掃

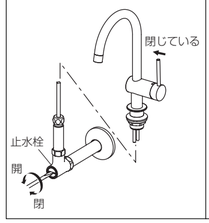
●水栓金具の整流口継手部に定流量弁が入っています。止水栓を一定以上開いても吐水流量は変わりません。現場で流量が少ない場合は、「9．流量が少ない場合の調節」をご参照ください。
●蛇口から水を流し給排水管の各接続部に漏水がないことを確認します。

注 意

排水接続部は数回繰り返して水を流して確認してください。

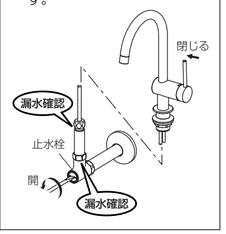
「通水検査、水漏れ点検」

1．レバーハンドルが閉じていることを確認し、給水・給湯の止水栓を開きます。



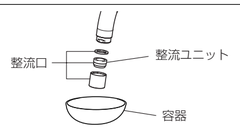
2．水側・湯側それぞれの位置でレバーハンドルを開け、通水を確認します。

3．レバーハンドルを閉じ、接続部からの漏水がないか確認します。



「整流口の掃除」

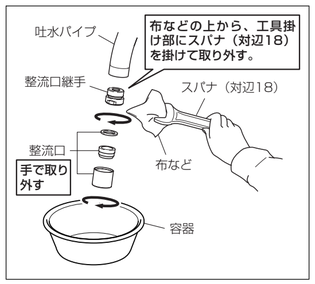
1．整流口の紛失を防ぐため、下に容器を準備します。
2．整流口を手で取り外し、整流ユニットを水で掃除します。



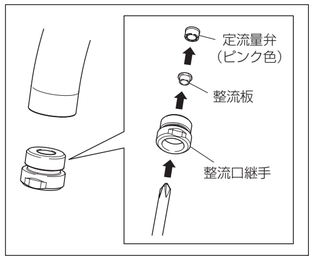
8．流量が少ない場合の調整

この製品には定流量弁・整流板が入っていますが、低圧の現場で流量が不足する場合は、以下の要領で定流量弁・整流板を取り外してください。

1．部品の紛失を防ぐため、下に容器を準備します。
2．整流口を手で取り外します。
3．整流口継手に布などを当て、その上から工具掛けにスパナ（対辺18）を掛け、整流口継手を取り外します。



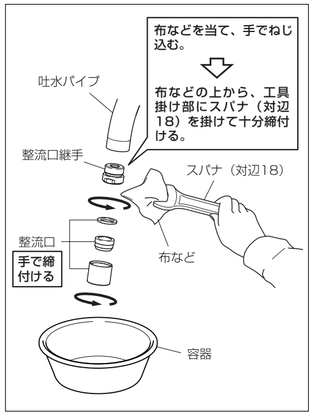
4．整流口継手の中にあるピンク色の定流量弁・整流板をドライバー等で押して外します。



5．整流口継手に布などを当て、整流口継手を吐水パイプに手で軽くねじ込みます。
6．工具掛けにスパナ（対辺18）を掛け、整流口継手を十分に締付けます。

注 意

手で締め付けると、ケガをしたり、締め付けが足りず漏水する恐れがあります。必ずスパナで締め付けてください。



7．整流口を手で締付けます。
8．湯・水各々が約4L/minになるように、必ず止水栓にて流量を調節してください。
※吐水量が多すぎると水はねが起こり、使用しづらくなります。

ポイント

4L/minの目安は、市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約50秒

9．引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は下記要領で行ってください。

現　象		点検内容	点検箇所	処　置
水栓	流量が少ない	圧力は十分か？	－	「給水条件」の項参照。
		止水栓は十分開いているか？	－	止水栓を十分開く。
		整流ユニット・定流量弁にゴミ詰まりはないか？	A,B	ゴミ等を水で洗い流す。
		配管途中に大きな抵抗はないか？	－	抵抗となる障害物を取り除く。
	水が止まらない	ゴミかみはないか？	C	ゴミ等を水で洗い流す。
		キズはないか？	C	キズがあればカートリッジ（B シートパッキン付）を交換する。
		ゆるみはないか？	D	カートリッジ固定ナットを締める。締過ぎるとレバーハンドルが重くなることがありますので注意してください。
	希望の温度が得られない	圧力は十分か？	－	「給水条件」の項参照。
		流量調整はよいか？	－	止水栓を調節する。
		整流ユニット・定流量弁にゴミ詰まりはないか？	A,B	ゴミ等を水で洗い流す。
	水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？	E	締付ナットを十分に締める。
	ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	F	ねじを十分に締める。
	キャップより水が漏れる	キャップのゆるみはないか？	G	キャップを十分に締める。
排水口・排水管	排水しないあるいは排水がスムーズでない	排水口の目皿がゴミ等で詰まっていませんか？	－	目皿の掃除をする
		排水管・ボトルトラップがゴミ等で詰まっていませんか？	－	排水管・ボトルトラップの掃除をする
	漏水する	接続部の袋ナットがゆるんでいませんか？	－	袋ナットを増締めする